

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこわ		
○保護者評価実施期間	R8年2月16日		～ R8年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年2月9日		～ R8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月3日		～ R8年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月26日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりにあった支援が行われているのかと思われます。	・相談支援専門員の方にもご協力いただいて、訪問先や保護者のニーズ、地域に関する情報収集することで、支援に活かしております。 ・集団での評価だけでなく、必要に応じて個別評価を実施しております。	・外部の専門性のある方々の意見等も取り入れながらより専門性の高い支援をお子様だけでなく、保護者の方々にも提供できるよう取り組んでいきます。
2	事業説明や契約次項等説明がしっかりとできていたと思われる。	・障害福祉サービスを初めてご利用される方も多いため、ご安心かつ今後活用していただけるよう情報提供も踏まえしっかりとお伝えしております。 ・ご利用するに当たり、お子様だけでなくご家族様、訪問支援先の皆様に不利益がないようご説明させていただいております。	・今後契約時に支援の方向性だけでなく、将来のお話しも行うことで、他機関との連携やご家族様に必要な情報提供を行っていただけると考えております。
3	お子様との関係性は良好かと思われます。	・支援の前に一番大切にしていることはお子様との関係性です。ご安心していただけないと適切な評価や支援ができないと思いますので、関係性を築いた上で支援をさせていただいております。	・今後も継続し、良好な関係性を築いた上でお子様だけでなくご家族や訪問先の皆様に安心していただけるよう関わろう心がけます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現段階では保育所等訪問支援と居宅訪問支援のみなので、訪問支援員の数が少ないと思われます。	・制度的な問題もあり、中々訪問支援員を増やすことができなかった。	・今後事業展開を行うことで、訪問支援員を増やしていきます。
2	緊急時の対応に関して、基本的に訪問先主体で対応を行うので、少し情報が不足していたと思われます。	・保護者の方とは初回の契約時には緊急時の対応はお話ししていたのですが、訪問先でのお話しはありませんでした。	・今後保護者の方からの情報を踏まえ、訪問先での緊急時対応に関して改めて確認していきながら、ご家族、訪問先の皆様に安心してお子様に関わらせていただけるよう努めます。
3	ご家族様への情報提供が不足していたと思われます。	・未就学児が多いので、就学に関する情報や似た境遇の方々との相談会などの情報提供が不足していました。	・行政や相談支援専門員、社会福祉協議会の方々から情報収集を行い、必要な情報をお伝えできたらと考えております。